



毎度ありがとうございます。明昌の宮崎です。朝晩は寒さが身に沁みますが、昼間は暖かい日差しもあり、春を感じる今日この頃、皆さまいかがお過ごしでしょうか。この時期になると節分で私が鬼役になって父に豆を楽しそうに蒔かれていたのを思い出します。皆さまも楽しい節分をお迎えください。今号も営業スタッフから面白いトピックをもらいました。是非参考にさせていただき、**現場改善**にお役立てください！

印刷不良トラブルシューティング！

印刷不良は様々なロスに繋がります。原反、インキ、エネルギーコスト、時間…。

これらのロスを防ぐためには、『状態確認』が重要です。

今回はお客様からお問い合わせいただいた一例を用いて、発生原因と解決策をお伝えしたいと思います。

【ケース1】印刷トラブル：色ムラ

状況：ディスペンサーでインキ調合。あまり使わない色なので、1年間インキが継ぎ足されており、久しぶりの使用で色ムラが発生。

中央側と操作側で印刷の濃淡に差が出た。

原因：完全に成分分離したインキである。使用前にインキの攪拌を行っていない。 操作側

対策：インキ回収し、水洗浄をした後、MIXスパイラルで十分に攪拌したインキを使用してみた。

結果：見本通りの色濃度になった。

★たまにしか使わないインキでは、こういったトラブルが発生しやすいので要注意ですね！

【ケース2】印刷トラブル：かすれ

状況：朝一番の印刷でかすれが発生した。寒い時期に多く発生している。

原因：印刷機とインキの冷え。

対策：印刷前に、印刷機でお湯を循環させて、印刷機の温まりが早くなる手助けをする。インキの液温を10度以上に上げるために、熱湯を少量入れてMIXスパイラルで攪拌を行った。

結果：インキが軟らかくなり、かすれは改善した。

★冬の朝一番の印刷のノリと午後からのノリが違うのは、インキの液温や印刷機内部の温度の変化が原因ですね！他にも冬に発生しやすいトラブルがあります。多くは冷えによるトラブルが多いので、インキの状態の確認や、印刷機の冷えに合わせた『ちょっとの手間』をかけて、ロスを未然に防ぎましょう！



操作側

中央

講演デビューします！

営業開発部の大西が、2月14日の中段工セミナーで講演デビューします！テーマは『印刷不良ゼロを目指すメンテナンスの重要性』です。デビューに向けて猛特訓しております。皆さまにとってお役に立てる内容ですので、是非ご参加ください！

YouTube配信します！

1月号でお知らせいたしました『攪拌動画』を近日中にYouTubeにアップ致します！気温が10度を下回る時期は、1時間程度で白顔料が沈殿し、攪拌をしても容易に分散しません。少量の熱湯を入れてMIXスパイラルで30秒攪拌することで、インキは良い状態に改善されて、色ムラやかすれを予防できます。是非ご覧ください！

フレキシ印刷と共に72年～明日を見つめて 明日を拓く～



明昌株式会社

<http://www.meisho-c.co.jp>

〒532-0011大阪府大阪市淀川区西中島1-14-10(阪急電車・南方駅から徒歩1分)

TEL:06-6304-8340 FAX:06-6305-6788 E-mail:contact@meisho-c.co.jp

